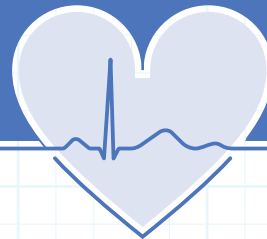


# 心電図アカデミー 2

日常臨床に携わるメディカルプロフェッショナル（臨床検査技師・看護師）、  
研修医の方を対象としたセミナーです。



[ 全体テーマ ]

## 心電図から“次の一手”を読む

座長 奥村 恭男 先生 [ 日本大学医学部内科学系 循環器内科学分野 ]

### 演題 1

#### 心電図の成り立ちと 電気生理学

演者

木内 邦彦 先生

[ 神戸大学大学院医学系研究科 先進生命医科学系専攻 ]

### 演題 2

#### 注意を要する心電図 ～実波形の確認～

演者

野田 崇 先生

[ 近畿大学病院 心臓血管センター ]

日時

2026年7月25日(土)  
14:00～16:00

会場

第7会場 国立京都国際会館 1F  
アネックスホールA  
京都府京都市左京区岩倉大鷲町 422  
[https://www.icckyoto.or.jp/access/getting\\_here/](https://www.icckyoto.or.jp/access/getting_here/)



定員

380名(事前登録制、先着順)  
※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

付記

- ・本セミナーは、JHRS 認定心電図専門士制度認定更新の要件 (10単位) に該当します。
- ・受講証明書の配布はありません。会場前の受講受付で入場・退場時に【来場二次元コード】を読み取り、単位登録いたします。
- ・遅刻および早退の場合は単位の取得はできません。

### お申込み

- ◎受講を希望される方は、第72回日本不整脈心電学会学術大会への登録・参加費が必要です。お申込み方法は大会 Web サイトにてご確認ください。
- ◎参加登録開始は2026年5月中旬を予定しています。大会 Web サイトを随時ご確認ください。
- ◎キャンセル待ちはございません。受講希望の方は必ず事前にお申込みください。
- ◎原則返金はできません。

■お申込み・詳細はこちらから  
JHRS2026 心電図アカデミー Webサイト  
<https://www.ace-enterprise.co.jp/jhrs2026/contents/academy.html>





# 心電図アカデミー2

## 座長の言葉

座長：奥村 恭男 先生 (日本大学医学部内科学系 循環器内科学分野)

心電図は、循環器診療の出発点でありながら、その解釈には高い専門性が求められる検査です。一見なじみ深い検査であっても、波形の背後には複雑かつ精緻な電気生理学的現象が存在します。日常診療で頻りに用いられるからこそ、異常を見つける力だけでなく、「正常である」「経過観察でよい」と判断する力も重要です。

本セッションでは、木内 邦彦先生に「心電図の成り立ちと電気生理学」をご講演いただき、心電図波形がどのような機序で描かれるのか、その本質を基礎から再確認します。

続いて野田 崇先生には「注意を要する心電図～実波形の確認～」として、実際の12誘導心電図をもとに、wide QRS tachycardia、徐脈、ST・T・U変化など、臨床で判断に迷いやすい所見について具体的に解説いただきます。

心電図は、知識だけでなく「どこに違和感を持つか」、そして「どこまでを正常と判断するか」が問われる検査です。本セッションが、明日からの診療における心電図読解の視点を深める機会となれば幸いです。

## 演題 1 | 心電図の成り立ちと電気生理学

演者：木内 邦彦 先生 (神戸大学大学院医学系研究科 先進生命医科学系専攻)

**(演題要旨)** 心臓は1日に約10万回、一生涯では30億回もの拍動を刻みます。この連続的な拍動は、わずかに5拍の停止で意識を失わせ、10拍で生命の危機を招くほど、極めて精密な均衡の上に成り立っています。心拍動が緻密に絶え間なく維持されていることは奇跡に近いといえます。心臓内を瞬時に駆け巡る刺激伝導系が、この奇跡の維持に大きく関わっています。洞房結節から発せられた電氣的興奮が心房、房室結節、ヒス束、そして右脚・左脚へと伝播することで、心房と心室が同期された

効率的なポンプ活動を実現します。心電図は非侵襲的であるにも関わらず、心臓の電氣的興奮を正確に可視化できる医療機器ですが、その背景にある「電気生理学的な真意」を読み解くには、単なる暗記を超えたスキルが求められます。本アカデミーでは、心電図の原点に立ち返り、その成り立ちと背景にある電気生理学に焦点をあてます。臨床現場で日々向き合う波形が、どのような機序で描かれ、何を伝えようとしているのか。心電図への理解を根底から深め、確かな「視点」を養う機会とします。

## 演題 2 | 注意を要する心電図～実波形の確認～

演者：野田 崇 先生 (近畿大学病院 心臓血管センター)

**(演題要旨)** 循環器疾患においては、外来を受診した患者の重症度が異なります。緊急で対応が必要なものから、経過観察で済むものまで様々であり、症状が軽度であっても初期の診断が重要です。12誘導心電図検査は、簡便であり多くの患者での循環器疾患の初期検査として用いられます。一方、心電図所見の細部の観察を行うことによって、病態や疾

患の鑑別が可能となることがあります。今回、実際に外来受診された症例の12誘導心電図を提示し、①頻拍での注意点～wide QRS tachycardiaの心電図鑑別～、②徐脈での注意点、③病態を示唆する心電図所見(ST、T、U変化)のそれぞれについて、注意すべき点や鑑別方法を説明させていただくことで明日からの心電図読解に役立つ内容にしたいと考えています。

## お問合せ先

### ■参加登録およびJHRS認定心電図専門士資格について

第72回日本不整脈心電学会学術大会 運営事務局(株式会社ACE エンタープライズ内)  
E-mail: jhrs2026-regi@ace-enterprise.co.jp

### ■セミナー内容について

日本光電工業株式会社・心電図アカデミー2係  
E-mail: nk-seminar02@db.nkc.co.jp

※心電図アカデミー1につきましては、以下にお問合せください。フクダ電子株式会社・心電図アカデミー1係  
E-mail: fsemi@fukuda.co.jp / TEL: 0120-155-737

共催：第72回日本不整脈心電学会学術大会 (JHRS2026) / 日本光電工業株式会社